

叱られることを恐れていませんか？（令和２年５月号）

西郷どんの教えその 16

「^{はつぎれんち}節義廉恥は国を維持する道」が原文であるが、正しい道義の必要性と廉恥の心がけを教えている。

今、世界中を震え上がらせている新型コロナウイルス。WHOは、新型コロナウイルスについて人為的に作成されたものではなく、動物が起源であると言明した。まさしく自然発生ということであり、この頃多くなっている自然災害等とも相通ずるように感じる。私たち人間は、自然と共に生活し社会を築いている。

しかし、文明社会の発展と共に機械を発明し、ますます便利な情報化社会を想像している。悪いことではないと思われるが、この新型コロナウイルスに対峙しているこのとき、今後の社会がどう変わるのか、さらには、変わらなければならないのかを考えなければならない。西郷さんは、「廉恥の心がけ」として、自分の利益だけを求めると卑しい心が強くなり、道義とか恥といったような道徳を失ってしまう。一番恥ずべきは、知っていて実行しないことである。廉恥を失うことが国を失う。と、言っています。

生命誌研究者・中村桂子さんの新聞論説の中で、新型コロナウイルス対策は一人一人が責任を持ち「手洗い」をすること。そして、この「手洗い」からこれからの社会が想像できると言っています。「私たちは、ウイルスが存在する自然と向き合って生きている。自然とは、具体的には地球である。一人一人が自分の役割を意識して行動することで地球とつながる。」

新型コロナウイルスのワクチン開発は必要であり、待ち遠しい。が、今は何よりも「手洗い」をしましょう